

施設理念『 キリストの愛を原点に全人的ケアを目指します 』



社会福祉法人 救世軍社会事業団 ブース記念老人保健施設グレイス

グレイス新聞

【 2015年 夏号 (2015/9/15) 】

退任のご挨拶



大倉 透

前任の鈴木雅子先生の後を継いで、施設長を五年間勤めさせていただきました。利用者様、職員の皆様、関係者の方のサポートによって、無事、責務を果たすことが出来ましたこと感謝です。後任として、私がよく存じ上げている黒川純先生が、引き継いでくださることとなり、一安心です。しかし大変な時期に、黒川先生にお願いすることとなります。それは、超高齢化社会を迎え、国の方針として三年後には、健康保険・介護保険同時改定の予定で、老人保健施設は、病院と在宅をつなぐ役割が、ぐっと重くなります。すなわち、地域包括ケア・システムの導入です。グレイスも和田地区において、このシステムの中心的な存在となることを、期待されています。在宅医療、在宅看護、在宅介護、地域づくりと一緒に、一体となります。それに向けて、今から、準備しなくてはなりません。黒川新施設長を中心に、これからのグレイスの、ご発展をお祈りしています。

2015年 救世軍標語

「ビジョンを掲げて ～確かな実を結ぶ～」

『わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。』 (ヨハネによる福音書 15章5節)

大倉施設長の後任は、10/1付で黒川純医師が施設長になられます。

5年間施設長としての重責を担って下さり心から感謝申し上げます。(事務長)

グレイス納涼祭

8月2日(日)毎年恒例のグレイス納涼祭が行われました。

天翔連による阿波踊り、方南エイサーによる沖縄のエイサー、そして職員による積み木崩しゲームや、金魚すくい、駄菓子、そして美味しい焼きそば&ポテト、カキ氷などなどをお楽しみ頂きました。

当日は暑い中、大勢のご家族の皆様にもお越しいただき、ご利用者様、職員とも楽しい時間を過ごすことが出来ました！

当日配布したアンケートのお返事を一部抜粋してご紹介いたします。

阿波踊りとエイサーとプロの方の上手な踊りを楽しんで拝見しました。いつもと違った楽しさにふれて、父も刺激をうけたようで喜んでいました。冷たい保冷剤で身体を冷やしたり、温かいおしぼり等、準備され、スタッフの皆様のやさしい気配りが感じられました。金魚すくいやかき氷、駄菓子などのイベントの内容も家族皆で楽しめるもので、大変楽しく過ごさせていただきました。ありがとうございました。



今日は猛暑の中、楽しい半日を過ごすことができ、良かったと思っています。ご準備もお忙しいお仕事の中になさったのですね。有難うございました。全般的には良かったと思いますが、休憩場所が混雑し、ご家族で参加されているため人数も多いせいか、ご利用者さん自身、ご不自由なお身体で座る場所がなく、困っていらっしゃる光景もありました。椅子の用意も限りがあるとは思いますが、暑いため野外のお席は利用しづらかったと思います。でも徐々に本人の楽しそうな顔を見ることができ良かったです。

祭りは一年の句読点。夏！踊り（祭り）で心呼びませ！入所してお世話になっている母も、見守る家族にとっても、このような機会は、多くのことを感じ、考え方、ものの見方をリフレッシュするための貴重な時間です。内容や時間等は特に問題はないと思います。大切なのはそれぞれのご家族が時間と場所を共有できること。グレイスの皆様のご苦勞に感謝します。日本列島は猛暑列島になって久しいですが、開催時期について考えてみることも一考かと思います。



にぎやかなお祭で楽しみました。暑い中皆様総出の準備、ご苦勞さまでした。駄菓子や焼きそばなど普段口にしないものも久しぶりにいただき、美味とさかんに言っておりました。楽しくすごすことが出来、本人家族共により一時を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

アンケートのご協力ありがとうございました。頂いたご意見は来年の納涼祭のために参考にさせていただきます。

納涼祭以外にも毎月フロアごとに季節の行事を開催しています、ぜひおいでください！

発行者：社会福祉法人 救世軍社会事業団 ブース記念老人保健施設グレイス

発行人：大倉 透

編集責任：黒木 成人

電話：03-3380-1248

HP アドレス：grace@salvationarmy.or.jp/